

城山中央小学校魅力ある学校づくり地域協議会

学校施設を活用した地域主体の教育活動

- 夏休み中の体育館や校庭など学校施設全体を活用した1泊2日の「学校へ泊まろう！」や放課後の校庭を活用した「焼きいもやけるかな？」が毎年開催されています。

①「学校へ泊まろう！」

- ・ 初日は、13時半に学校に集合し、地域協議会からのオリエンテーションの後、大谷石を使った石細工作りやカレーチームと炊飯チームに分かれての夕食作り、プール遊びなど盛り沢山の活動を行いました。さらに、その後、校庭に集合し、キャンプファイヤーを行い交流を深め、体育館に宿泊しました。
- ・ 2日目は、6時に起床し、ラジオ体操やバケツリレーによる防災訓練、流しそうめん体験など多様な活動を行いました。
- ・ 最後の解散式では、参加した6年生から感想を発表してもらい、さらに参加した子ども達全員から協力してくれた大人へ感謝の言葉が送られました。

②「焼きいもやけるかな？」

- ・ 当日は、地域協議会会長と校長が全体挨拶を行い、火の取扱いやケガに注意するよう呼び掛け、保護者が子ども達に焼きいもを焼くまでの手順を説明しました。その後、地域の大人と子どもが協力しながら焼きいもの準備を行い、焼き上がるまでの間、子ども達は、地域協議会が事前に企画した外遊びに参加し、学年の異なる児童が、遊びながら交流することができました。
- ・ その後、焼き上がった焼きいもを参加者全員で美味しくいただきました。

- 子ども達は、たくさんの地域の大人に支えられたこれらの活動に参加することを通して、多様な人間関係（ナナメの関係）の中で、心豊かにたくましく育まれています。



キャンプファイヤー



流しそうめん体験



会長が安全について呼び掛け



焼きいもを食べて交流

【学校の声】

学校教育の中では、なかなかできない体験活動を地域協議会主導で実施してもらっている貴重な機会です。

地域協議会は、地域の子どもをより良く育てる活動に積極的なので、学校も協力しながら、地域とともに子どもを育てていきたいと考えています。

【地域協議会の声】

子ども達が普段、学校や家庭で体験できないことを地域の力で体験させたいと考えています。体験したことが子ども達の将来のプラスになれば嬉しいです。

また、一つの活動は沢山の人の協力があって成り立っていることを子ども達が感じて、感謝の気持ちを学んでもらいたいです。自分達が大人になった時に、自分達の子どもにも様々な体験の機会を作ってあげてほしいと思います。

【いいね!】

- 地域協議会委員を始め、学校関係者、保護者、中学生、地域のボランティアなど多様な協力者の中で体験活動が実施されている。
- 夏休みや放課後に活動を実施することによって、学校施設を有効に活用することができている。

